



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



イヌの叱り方から学ぶ？

飼い主がイヌにはしてはいけない叱り方「5つのNG」とは、次のようなことなのだそうです。
①叩くなど、暴力を用いる。②大きな声で怒鳴りつける。③一貫性がない。(同じことをしても叱るときと叱らないときがある。)④笑顔や明るい声で叱る。⑤叱るタイミングが遅い。

一方、「5つの正しい叱り方」とは、次のようなことなのだそうです。①「だめ」と短い言葉でびしっと叱る。②いつもより低いトーンとこわばった表情で叱る。③目をしっかり見つめて叱る。④叱った直後はかまわない。⑤叱った後は一定時間距離をおく。

(「わんちゃんホンポ」参照)

このようなイヌを叱るときの留意点が、ヒトの子供を叱るときにもそのままぴったり当てはまるわけではないでしょうが、「当たらずとも遠からじ」……。

とりわけ、イヌの場合、「①叩くなど、暴力を用いる」と、いくら今まで信頼関係が築けていても、それを崩壊させるほどの恐怖心を植え付けてしまうそうです。また、「②大きな声で怒鳴りつける」と、「怖い」という感情のほうが大きくなってしまい、「何に対して叱られているのか」考えることができなくなってしまうのだそうです。

保護者が我が子のことを思い、我が子に発する言葉かけの一つ一つは、「親の話となすびの花は千に一つも仇がない」とはよく言ったものですが、それがストーンと我が子の心に落ちて欲しいと思うのはどの保護者も同じ。そうなることを願いながら、たとえイヌの叱り方であっても、イヌもヒトも同じ動物という視点に立って、この「5つのNG」と「5つの正しい叱り方」を我が子を叱るとき、少しでも参考になることがあれば幸いです。



主体学習コンクールの優秀作品を掲示しています！本日(6/7)表彰式も行いました！



「ロイロノート」で自分の考えをみんなに知らせています！



一人一人自分の学習課題に黙々と取り組んでいます。(おおよそ1組)